

研修担当の先生へ

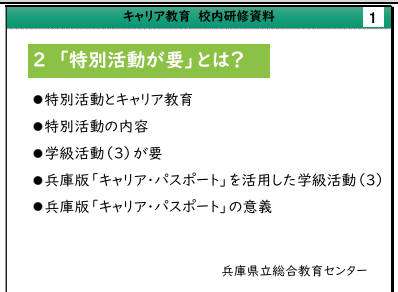
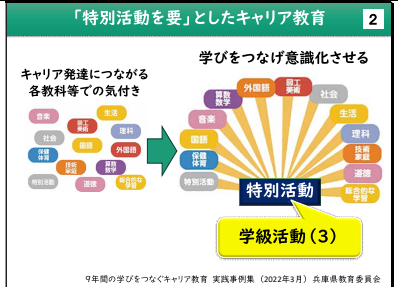
- ・本資料は、スライド資料を使って研修を行う際の参考にお使いください。
- ・スライド資料を印刷し、校内研修で配布することは可能ですが、以下の点にご留意ください。

【研修資料の活用条件】

研修資料（引用している箇所を除く）は、下記の条件において活用できます。

- ①出典を明示する。 例：「キャリア教育研修 県立総合教育センター」
- ②資料全体をそのままの形態で活用する。

2 「特別活動が要」とは？

スライド 1		
説明原稿例	・この研修は、このような流れで進めていきます。 ・特別活動を要としたキャリア教育について理解し、兵庫版「キャリア・パスポート」の活用につなげることを目的とした研修です。	
スライド 2		
説明原稿例	・ここでは、「特別活動を要」としたキャリア教育とはどういうことを考えていきましょう。 ・スライドの左の図のように、各教科等で児童生徒はキャリア発達につながる多くの気づきをしています。また、それらは異なる教科でも関連していることがあります。 例「相手のことや自分の役割を考える」 ・体育の学習で 自分の役割を意識してプレーする ・道徳の学習で 思いやりについて考える ・係活動で 与えられた仕事をやり遂げる ・学校行事で 卒業生に喜んでもらえるよう、送る会を企画・運営する ※他にどのような場面が考えられるか、ここで意見交換をしてもよいでしょう。	

	・しかし、児童生徒自身が自ずと関連付けることができるでしょうか？ ・そこで、各教科等での学びをつなげ、意識化させることが必要になります。それをどの時間に行うかという、特別活動、その中でも学級活動（３）の時間であり、この学級活動（３）の時間を「要」、つまり扇の留め具として、それぞれの学びが繋がりとめられるというイメージになります。	
補足事項	この学級（ホームルーム）活動（３）は、小学校・中学校は平成 29 年告示の学習指導要領、高等学校は平成 30 年告示の学習指導要領で新たに加わった内容です。	

スライド 3		
説明原稿例	（小・中の学級活動を例に） ・特別活動の構成を確認します。学級活動は(1)、(2)、(3)の 3 つの内容に分かれています。 ・いずれも集団での話し合いを重視していますが、(1)は児童生徒自身が「共同の問題」を決め、集団として「合意形成」を図る。簡単にいうと、「自分もよく、みんなもよい」ことを決めることです。 ・(2)と(3)は、教員が「共通の問題」として課題を設定し、話し合いを通して自己の課題に対する解決方法や努力目標を一人一人が「意思決定」します。 ・そのうちの学級活動(3)一人一人のキャリア形成と自己実現は、キャリア教育に関する内容について振り返り、目標を設定する時間になります。	

スライド 4		
説明原稿例	・リーフレット中面の授業の流れを見ながら、実際の授業動画を視聴します。 ※学級活動(3)の授業の実践例は、このスライドにある「小・中・高をつなぐ キャリア教育の充実に向けて」のリーフレットに載っています。 小学校版と中学校版があります。 ※リーフレットを見ながら授業動画を視聴すると、各場面の意図を理解しやすくなります。	
補足事項	・高等学校の先生にとっては、これらのリーフレットや授業動画を見ることで、小学校・中学校の学級活動(3)でどのように兵庫版「キャリア・パスポート」を活用しているかを知ることができます。	

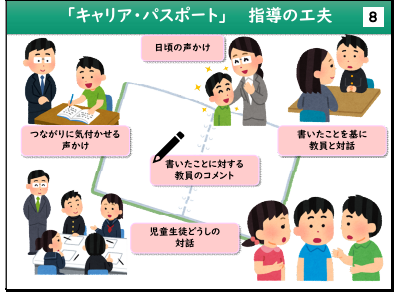
参考情報	・リーフレットは、兵庫県教育委員会の「キャリア教育研修パッケージ」の Web ページ（二次元コードは本資料の末尾）からダウンロードできます。 ・高等学校における兵庫版「キャリア・パスポート」の活用事例については、右の指導資料「未来に寄り添う 兵庫版キャリア・パスポート」に掲載されており、上記の Web ページからダウンロードできます。小学校・中学校の先生方にとっても、高等学校での活用事例が参考になります。	
------	--	---

スライド 5		
説明原稿例	・授業動画は、この学級活動(3)の内容に沿ったものです。 ・学習過程を図で示すとこうなります。ちなみに、学級活動(1)、(2)も基本的には同じ流れです。	5 事前の活動 ①問題の発見・確認 「つかむ」 本時の活動・話し合い活動 「さぐる」 ②解決方法等の話し合い 「見付ける」 ③解決方法の決定 「決める」 事後の活動 ④決めたことの実践 ⑤振り返り 次の課題解決へ 「みんなて、よりよい学級・学校生活をつくる特別活動(小学校版)」教師用指導資料 (平成30(2018)年12月)

スライド 6		
説明原稿例	・以下の3点について後ほど意見交換をします。 3つの視点を意識して、授業動画を視聴してください。 ①学級活動(3)として何がどう良かったか。 ②どのような児童生徒の姿が良いと思ったか。 ③それを引き出す教員のどのような働きかけが良かったか。	6 ①学級活動(3)として何がどう良かったか。 ②どのような児童生徒の姿が良いと思ったか。 ③それを引き出す教員のどのような働きかけが良かったか。
補足事項	授業動画のポイント ・「つなぐ」、「結び付ける」 例：過去の自分と今の自分、これからの自分をつなげて考える。 自然学校やトライやる・ウィークでの経験や学びと、学校生活を結び付けて考える。 ・つながりをもたせるための教員の言葉がけや働きかけ ・つながりをもたせるための兵庫版「キャリア・パスポート」の意義の理解	

スライド 7		
説明原稿例	・視聴していただいた学級活動(3)の授業動画では、兵庫版「キャリア・パスポート」が活用されていました。この兵庫版「キャリア・パスポート」にはどのような意義があると思われますか？ ・学級活動(3)では、学んだことを振り返り、次に	7 ● 学習や生活の見通しを立てる。 ● 学んだことを振り返る。 ● 新たな学習や生活への意欲につなげる。 ● 将来の生き方を考えたり活動を行う。 横のつながり 縦のつながり 小学校キャリア教育の手引き 文部科学省(2022年3月)

	つなげるための意志決定を行います。そのためには、過去～現在～未来という時間軸における「縦のつながり」への気づきが大切です。 ・「あの時に、人の役に立てたことがうれしかった」、「責任をもってやり遂げたことが自信になった」など、過去の自分の頑張りを振り返ったり、未来の自分を想像したりする「縦のつながり」を意識できるように促すことも重要です。 ・併せて、「横のつながり」として、個々の気づきや学びをつなぎながら、他の教育活動や場面に生かせるように促すことも大切です。 ・しかし、記憶というのは曖昧で、その時には気づきがあっても、忘れてしまいがちです。だから、気づきを記録する「キャリア・パスポート」があるのです。	
--	---	--

スライド 8		
説明原稿例	・では、「キャリア・パスポート」を書かせて終わりにならないよう、活用するためにはどのような指導の工夫ができるでしょうか？ ※ここで少し考える時間をとるとよいでしょう。 ・例えば、このような工夫があります。 ○つながりに気付かせる声かけ 例：「小学生の時に、努力することが大切だと書いているね。」 ○書いたことを基に教員と対話 例：面談の際に使用 ○児童生徒どうしの対話 例：「行事を頑張ったと書いているけれど、掃除とか係の仕事も頑張っていると思うよ。」 ○書いたことに対する教員のコメント 例：「わかりやすく伝える力は、友だちとの関係においても大切だと気付いたんですね。」 ○日頃の声かけ 例：「さっきの説明、とてもわかりやすかったよ。国語の時間などで身に付けた力を発揮しているね。」	

	・キャリアノートや兵庫版「キャリア・パスポート」は、児童生徒が書き留めて終わりではありません。 ・それを基に教員と対話をしたり、児童生徒同士の話合いを行ったりすることを通して、自分自身のよさ、興味・関心など、多面的・多角的に自己理解を深めることにつながります。 ・学級活動において対話の場面を入れることも指導の工夫になります。 ・何より、教員がキャリアの視点や、縦のつながりと横のつながりを意識することで、それが児童生徒への声かけやコメントに反映され、児童生徒も縦と横のつながりを意識することができます。 ・キャリア教育は、子ども・若者がキャリア形成をしていくために必要な能力や態度の育成を目標とする教育的な働きかけといえます。	
補足事項	・兵庫版「キャリア・パスポート」が十分に活用されていない場合は、活用のための指導の工夫に絞って校内研修をすることもできます。 ・自分のことを上手く表現できなかったり、その時の心情によっては兵庫版「キャリア・パスポート」に何も書けなかったりする児童生徒もいます。一人一人の児童生徒の状況や心情を理解し、成長をそっと後押しする気持ちでコメントを返すとよいでしょう。 ・「キャリア・パスポート」は、児童生徒が自身の変容や成長を自己評価するためのポートフォリオです。だから、児童生徒がその時々的心情を素直に書くことが大切です。	
参考情報	詳細はリーフレット参照 「キャリア・パスポートって何だろう？」 (文部科学省 国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センター) 「兵庫版『キャリア・パスポート』活用のための事例とヒント」 (兵庫県立総合教育センター)	



https://www2.hyogo-ed.jp/hpe/gimu/cont_cate/careerpack/
兵庫県教育委員会 ホーム>義務教育課
>キャリア教育・進路指導>キャリア教育研修パッケージ

キャリア教育 校内研修用 PPT 研修担当者用資料 2 (兵庫県立総合教育センター)